

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月14日

上場会社名 ムーンバット株式会社

上場取引所 大

コード番号 8115 URL <http://www.moonbat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 中野 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・常務執行役員 管理本部長 (氏名) 今村 京一

TEL 075-361-0381

四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	7,801	—	612	—	582	—	354	—
20年3月期第2四半期	7,052	△12.6	455	△16.0	344	△24.1	△27	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	13.30	—
20年3月期第2四半期	△1.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	13,688	5,513	5,513	5,204	40.3	207.08
20年3月期	14,608	5,204	5,204	5,204	35.6	195.45

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 5,513百万円 20年3月期 5,204百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	2.00	2.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	8.5	1,020	48.1	920	94.6	510	—	19.15

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 26,708,668株 20年3月期 26,708,668株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 85,486株 20年3月期 80,290株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 26,625,963株 20年3月期第2四半期 26,636,198株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 通期連結業績予想は、平成20年11月10日発表のとおり、修正を行っております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3. 当連結会計年度より「四半期連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、米国サブプライムローン問題を引き金とした世界的な金融不安・世界経済の同時減速による輸出鈍化、資源・原材料高で収益を圧迫された企業の生産・設備投資の抑制、株式・為替市場の動揺と冷え込んだ消費者心理などを背景として、減速基調が鮮明となりました。当社グループの主要販売先である百貨店及びチェーンストアの売上高も、個人消費の落ち込みを反映して、引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境下ではありますが、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、78億1百万円と前年同期比10.6%の増収となりました。主因といたしましては、首周りアイテムがトレンド商品として注目を集め、ストール等の洋品において引き続き大変好調な販売が続いていること、レイングッズの販売が順調に推移し、パラソルの販売も前年同期を上回ったこと等であります。これにより、高額品に対する消費マインドの落ち込みを背景とした毛皮・宝飾品等の販売不振を十分に補う形となりました。

収益面では、増収要因等を主因に、営業利益は6億12百万円（前年同期比34.7%増）、経常利益は5億82百万円（前年同期比69.2%増）となりました。固定資産売却益の計上等により特別利益を1億86百万円計上いたしましたこと、及び、「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用に伴うたな卸資産評価損やブランド改廃等に伴うたな卸資産評価損の計上により特別損失を1億32百万円計上いたしましたことから、四半期純利益につきましては、3億54百万円（前年同期比3億81百万円増）となりました。

なお、事業部門別の状況は次のとおりであります。

衣服装飾品（毛皮・宝飾品部門）につきましては、毛皮市場は、引き続きトレンドとして注目されているものの、高額品への需要鈍化が顕著となりました。その中で当社グループは、「ミラ・ショーン」や「リナージオ」ブランドが健闘し、他社との差別化を進めてまいりましたが、消費マインドの落ち込みにより高額品受注が大きく伸び悩みましたことから、洋品毛皮の売場が比較的順調に立ち上がってはいるものの、前年同期の売上高を下回る結果となりました。

宝飾品市場は、毛皮市場と同様、高額品への需要が鈍化いたしました。また、信販会社による顧客向け与信抑制の影響もあり、マーケット全体として低迷いたしました。その中で、当社グループは、「ミラ・ショーン」ブランドの積極展開による企画商品の投入などを進めてまいりましたが、前年同期の売上高を大きく下回りました。

その結果、売上高は9億36百万円（前年同期比19.4%減）となり、営業利益は46百万円（前年同期比43百万円増）となりました。

次に身回り品（洋傘・洋品・帽子部門）につきましては、洋傘・レイングッズ・パラソル市場は、レイングッズがトレンドとして順調に推移し、洋傘・パラソルはほぼ前年同期並みの状況となりました。その中で、当社グループは業界のトップ企業として、市場への新鮮な商品企画の提案を行うなど販売力強化に努めました結果、主要販売先である百貨店における当社販売シェアは前年並みを確保し、全体として増収となりました。帝人ファイバー株式会社と共同で遮光効果とファッション性を兼ね備えた「ミラ・ショーン」ブランドのパラソルの開発・投入や、雨傘にUV加工を加えることで雨漏りがなく、パラソルとしても使用できる機能性を有する「晴雨兼用雨傘」の開発・投入などもマーケットにおいて好評をいただいております、さらなる企画提案の充実を図ってまいります。

洋品市場では、婦人服マーケットが低迷する中で、首周りアイテムがトレンド商品として注目を集め、ストール類が大変好調に推移いたしました。UV・ウオッシュャブル等の機能性も評価されております。その中で、当社グループは、主要販売先である百貨店における当社販売シェアは大幅に上昇し、売上高も前年同期を大幅に上回りました。

帽子市場では、UV等の機能商品や天然素材を使用した商品等は人気を集めました、全体として前年並みの状況となりました。その中で、当社グループは、空気触媒機能を有する新機能商品を展開し、消臭や防汚といった機能がマーケットにおいて好評をいただきました。主要販売先である百貨店における当社販売シェアは前年並みを確保し、全体として増収となりました。新ブランドの「シビラ」や「ヒロココシノ」のマーケットへの投入も始まり、新鮮な企画提案を進めてまいります。

その結果、売上高は68億64百万円（前年同期比16.5%増）となり、営業利益は6億91百万円（前年同期比21.6%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ9億19百万円減少して136億88百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が売却等により18億10百万円減少したこと、現金及び預金が5億17百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ12億27百万円減少して81億75百万円となりました。この主な要因は、有利子負債が21億85百万円減少したこと、支払手形及び買掛金が4億19百万円増加したことによるものです。また純資産合計は、前連結会計年度末と比べ3億8百万円増加して55億13百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益を3億54百万円計上したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢につきましては、世界景気の減速、株式・為替市場の混乱など、国内景気の下振れリスクは高く、個人消費マインドの回復は見込みにくい状況が続くものと思われま

す。また、第3・第4四半期連結会計期間につきましては、天候要因に大きく影響を受ける秋冬物や防寒対応商品等の季節商材の販売には不透明感があることや、原材料高、海外生産にかかる工賃の上昇傾向が続くことなど、引き続きコストを押し上げる要因も懸念されます。

かかる環境下ではありますが、通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における売上・利益がともに計画を上回りましたこと、洋品市場において首周りアイテムがトレンド商品として注目を集めて好調に推移していること等を勘案し、平成20年11月10日業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせにて、次のとおり修正いたしております。

(通期業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,000	730	595	260	9.76
今回発表予想 (B)	15,000	1,020	920	510	19.15
増減額 (B - A)	1,000	290	325	250	—
増減率 (%)	7.1	39.7	54.6	96.2	—
前期実績	13,828	688	472	115	4.32

なお、平成21年3月期末の配当につきましては、平成20年11月10日業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせにて、次のとおり修正いたしております。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成20年5月15日発表)	—	—	—	3.00	3.00
今回修正予想	—	—	—	4.00	4.00
前期 (平成20年3月期) 実績	—	—	—	2.00	2.00

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,980,833	1,463,029
受取手形及び売掛金	3,091,683	3,060,262
商品	2,899,854	3,034,658
原材料	72,888	86,732
仕掛品	22,250	37,365
その他	861,312	291,949
貸倒引当金	△51,227	△54,829
流動資産合計	8,877,595	7,919,170
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,123,082	3,826,325
その他	550,987	658,218
有形固定資産合計	2,674,069	4,484,543
無形固定資産		
のれん	303,625	335,750
その他	36,725	38,493
無形固定資産合計	340,350	374,243
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,368,797	1,350,039
その他	508,609	556,109
貸倒引当金	△91,312	△90,006
投資その他の資産合計	1,786,094	1,816,141
固定資産合計	4,800,514	6,674,929
繰延資産	10,629	14,068
資産合計	13,688,738	14,608,167
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,549,556	2,130,451
短期借入金	94,800	1,011,573
1年内償還予定の社債	2,000,000	1,700,000
未払法人税等	333,495	200,764
賞与引当金	111,600	72,135
返品調整引当金	145,400	118,700
その他	686,283	332,628
流動負債合計	5,921,134	5,566,253
固定負債		
社債	625,000	1,050,000
長期借入金	1,175,014	2,318,641
退職給付引当金	272,796	278,246
役員退職慰労引当金	173,021	178,888
その他	8,581	11,518
固定負債合計	2,254,413	3,837,294
負債合計	8,175,548	9,403,547

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,339,794	3,339,794
資本剰余金	1,039,578	1,039,578
利益剰余金	1,149,188	848,273
自己株式	△11,257	△10,704
株主資本合計	5,517,303	5,216,941
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,387	△1,576
繰延ヘッジ損益	1,645	△8,973
為替換算調整勘定	△4,372	△1,772
評価・換算差額等合計	△4,113	△12,321
純資産合計	5,513,190	5,204,619
負債純資産合計	13,688,738	14,608,167

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	7,801,501
売上原価	4,588,890
売上総利益	3,212,611
返品調整引当金戻入額	118,700
返品調整引当金繰入額	145,400
差引売上総利益	3,185,911
販売費及び一般管理費	2,572,919
営業利益	612,992
営業外収益	
受取利息	5,895
受取配当金	32
為替差益	35,569
不動産賃貸料	21,269
その他	11,825
営業外収益合計	74,592
営業外費用	
支払利息	49,717
貸与資産賃借料	31,800
その他	23,821
営業外費用合計	105,338
経常利益	582,245
特別利益	
固定資産売却益	168,970
その他	17,295
特別利益合計	186,266
特別損失	
たな卸資産評価損	123,057
その他	9,486
特別損失合計	132,543
税金等調整前四半期純利益	635,967
法人税、住民税及び事業税	303,591
法人税等調整額	△21,795
法人税等合計	281,795
四半期純利益	354,172

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	635,967
減価償却費	30,592
のれん償却額	32,125
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	26,700
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△5,449
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5,867
賞与引当金の増減額 (△は減少)	39,465
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,295
受取利息及び受取配当金	△5,927
支払利息	49,717
固定資産売却損益 (△は益)	△168,970
売上債権の増減額 (△は増加)	△37,454
たな卸資産の増減額 (△は増加)	163,107
仕入債務の増減額 (△は減少)	428,748
未払消費税等の増減額 (△は減少)	69,307
その他	△35,750
小計	1,214,016
利息及び配当金の受取額	5,949
利息の支払額	△43,569
法人税等の支払額	△171,874
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,004,522
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△459,500
定期預金の払戻による収入	125,000
有形固定資産の取得による支出	△15,115
有形固定資産の売却による収入	1,970,925
敷金の差入による支出	△21,560
貸付けによる支出	△239,229
貸付金の回収による収入	57,108
その他	8,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,425,670
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△849,739
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△1,410,661
社債の償還による支出	△125,000
自己株式の取得による支出	△553
配当金の支払額	△53,256
その他	△2,840
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,242,050
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,838
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	183,304
現金及び現金同等物の期首残高	1,463,029
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,646,333

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	衣服装飾品 (千円)	身回り品 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
外部顧客に対する売上高	936,959	6,864,542	7,801,501	—	7,801,501
計	936,959	6,864,542	7,801,501	(—)	7,801,501
営業利益	46,405	691,206	737,611	(124,619)	612,992

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,660,908	140,593	7,801,501	—	7,801,501
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,001,346	1,001,346	(1,001,346)	—
計	7,660,908	1,141,939	8,802,848	(1,001,346)	7,801,501
営業利益	598,427	18,125	616,553	(3,561)	612,992

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		
	金額 (千円)	百分比 (%)	
I 売上高		7,052,397	100.0
II 売上原価		4,066,102	57.7
売上総利益		2,986,294	42.3
返品調整引当金戻入額		19,917	0.3
返品調整引当金繰入額		32,950	0.4
差引売上総利益		2,973,262	42.2
III 販売費及び一般管理費		2,518,150	35.7
営業利益		455,111	6.5
IV 営業外収益			
1. 受取利息	1,953		
2. 受取配当金	45		
3. 為替差益	14,606		
4. 賃借料	24,666		
5. その他	7,033	48,305	0.7
V 営業外費用			
1. 支払利息	63,449		
2. たな卸資産廃棄損	39,881		
3. 貸与資産賃借料	31,800		
4. 社債発行費償却	5,829		
5. その他	18,267	159,228	2.3
経常利益		344,189	4.9
VI 特別損失			
1. 役員退職慰労引当金繰入額	157,835		
2. 投資有価証券評価損	575		
3. 固定資産除去損	203		
4. 退職給付制度改定損失	25,826		
5. たな卸資産処分損	58,608		
6. その他	3,704	246,754	3.5
税金等調整前中間純利益		97,434	1.4
法人税、住民税及び事業税		124,448	1.8
中間純損失		△27,014	△0.4

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	97,434
減価償却費	33,290
のれん償却	32,125
社債発行費償却	5,829
投資有価証券評価損	575
返品調整引当金増加額	13,032
退職給付引当金の減少額	△47,427
役員退職慰労引当金の増加額	168,023
賞与引当金の減少額	△41,360
貸倒引当金の減少額	△10,488
受取利息及び受取配当金	△1,998
支払利息	63,449
無形固定資産除却損	153
退職給付制度改定損失	25,826
売上債権の増加額	△121,011
たな卸資産の増加額	△153,918
前渡金の減少額	18,030
その他流動資産の増加額	△12,220
仕入債務の増加額	353,853
営業未払金の増加額	2,037
未払消費税等の増加額	69,994
その他流動負債の減少額	△12,653
その他固定負債の減少額	△186
その他	△2,001
小計	480,388
利息及び配当金の受取額	9,965
利息の支払額	△59,085
法人税等の支払額	△31,639
営業活動によるキャッシュ・フロー	399,628
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△1,475
連結範囲の変更に伴う子会社株式の取得による支出	△154,165
有形固定資産の取得による支出	△3,935
無形固定資産の取得による支出	△202,734
長期前払費用による支出	△3,151
敷金の支出	△16,216
敷金の返還による収入	217,378
保証金の支出	△160,368
保証金の返還による収入	1,239,781
貸付けによる支出	△167,816
貸付金の回収による収入	532,919
その他	△3,402
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,276,813

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の減少額	△317,018
長期借入金の返済による支出	△1,541,882
自己株式の取得による支出	△848
配当金の支払額	△52,635
その他	△2,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,915,134
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	543
V 現金及び現金同等物の減少額	△238,148
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,759,659
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,521,511

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	衣服装飾品 (千円)	身回り品 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,162,085	5,890,311	7,052,397	—	7,052,397
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	1,162,085	5,890,311	7,052,397	(—)	7,052,397
営業費用	1,159,243	5,321,741	6,480,985	116,300	6,597,285
営業利益	2,842	568,570	571,412	(116,300)	455,111

〔所在地別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,982,952	69,444	7,052,397	—	7,052,397
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,118	1,017,462	1,024,580	(1,024,580)	—
計	6,990,071	1,086,906	8,076,978	(1,024,580)	7,052,397
営業費用	6,517,135	1,094,210	7,611,346	(1,014,060)	6,597,285
営業利益	472,935	△7,303	465,631	(10,519)	455,111

〔海外売上高〕

前中間連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。